2019-20年度　福島北ロータリークラブ

第26回福島RC・第29回福島北RC合同夜間例会　会報

令和2年2月25日（火）18:00～
クーラクーリアンテサンパレス4階ベリル
ホストクラブ　福島北ロータリークラブ

司会　福島北RC　副幹事　立花志明

（1）開会点鐘　福島北RC　鈴木宏幸会長

（2）ロータリーソング『我等の生業』　ソングリーダー　福島北RC　樋口幸一会員

（3）お客様紹介　鈴木宏幸会長

米山記念奨学生　　ヴォテッテュ　ハー様

（4）会長あいさつ　福島北RC　鈴木宏幸会長

皆様こんばんは。

本年度、福島北ロータリークラブの第５７代会長を務めております鈴木と申します。通常であれば、右近会長から先にご挨拶頂くところではございますが、本年度は当クラブがホストクラブと言うことで、私からご挨拶させて頂くことをお許し願いたいと存じます。

何はさておきまして、私どものスポンサークラブであります「福島ロータリークラブ」の皆様方には、当クラブの「創立記念例会」に合同例会として、華を添えて頂きまして、誠にありがとうございます。高い席からではございますが、衷心より御礼を申し上げます。

さて、１９６３年（昭和３８年）２月２７日、特別代表「村上正憲 様」の下、福島ロータリークラブ様にスポンサーを務めて頂き、福島北ロータリークラブが誕生しました。初代会長に「宮村義一 様」、副会長に「大木勲 様」、幹事に「坪井孚夫 様」がそれぞれ就任し、活動がスタートしております。残念ながら、当時のチャーターメンバーは、ご逝去されておりますが、福島ロータリークラブ様には、親クラブとして、日頃より多大なるご支援とご指導を賜っておりますことに、改めて、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

お陰様で、当クラブは現在５４名の会員が所属しており、最年長が「小林忠道会員」で８８歳、最年少が４０歳という、その差４８歳の多世代会員が集い、楽しく元気に活動しております。

また、多少強引な意義付けとなりますが、１９０５年、今から１１５年前の２月２３日は、ロータリーの創始者「ポール・ハリス」が最初に会合を持った日であり、「ロータリー記念日」に定められております。よって、２３日のロータリー記念日と２７日の当クラブの創立記念日の丁度真中の本日２５日に、スポンサークラブである福島ロータリークラブ様のご協力の下、このように盛大に「合同夜間例会」を開催できますことは、当クラブとしては、この上ない喜びであります。福島ロータリークラブの皆様におかれましては、今後とも当クラブに対しまして、ご支援ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、福島ロータリークラブ様と福島北ロータリークラブがますます発展いたしますこと、合わせて、両クラブ会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、簡単ではございますが、ご挨拶とさせて頂きます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

福島RC　右近八郎会長

第26回例会　会長あいさつ

本日は恒例の福島北ロータリークラブとの合同夜間例会であり、同クラブの創立57周年記念例会にもなっています。今回の合同夜間例会のホストは福島北ロータリークラブにお願いしています。ご多用の中、例会準備などのご尽力に感謝いたします。

今月はロータリーの特別月間「平和と紛争予防／紛争解決月間」ですので、日本人の紛争に対する姿勢あるいは戦争観という話題を提供しようと考えていましたが、世間では新型コロナウィルス肺炎やパンデミック（感染症の世界的流行）のニュースで持ち切りなので本日もそれに関連する話題を提供させていただきます。

さて世界の社会的、経済的活動がグローバリゼーションと表現されるようになって久しいですが、これは人・モノ・情報の流れが国家を超えて世界的規模で行われることを意味しています。古くは大航海時代にその萌芽を見ることができますが、本格的なグローバリゼーションの動きは20世紀末の情報の流れのグローバル化とともに到来したものです。

今回の新型コロナウィルス肺炎の様相がこれまでと異なるのは、新興国を含めた本格的なグローバリゼーションの時代に発生したことであり、初期段階での情報に関する不透明性とそれに起因する飛行機よる人の流れが監視下になかった点が特徴となっています。今回の新型肺炎はそれほど死亡率が高くないということですが、これはたまたまそうだっただけであり、本格的なグローバリゼーション時代のパンデミックに対するリスク管理の重要性を示しています。

もちろんグローバリゼーションに関する議論はパンデミックに関するものだけではありません。特に経済活動でのグローバリゼーションは、全体的な底上げにはなりますが地域格差や収入格差を内在するものであり、地域主義（ナショナリズム）との確執が不可避であり、その歴史的検証が現在進行形の形で行われています。

最後になりますが、実はロータリー活動というのはまさにグローバリゼーションの一つであり、ＲＩが標榜する目的とクラブや会員の主体性に齟齬をきたす危険性を秘めています。このテーマは来る３月13日（金）の2019-2020年度県北第一分区ＩＭのパネルディスカッションで話し合われる予定ですのでご期待ください。簡単ですが本日の会長あいさつとさせていただきます。

以上

・福島北ＲＣホームページ（http://fukushima-northrc.jp）をご覧下さい。

（5）米山記念奨学金給付　　福島RC　右近八郎会長

米山記念奨学生　　ヴォテッテュ　ハー様

（6）幹事報告　　福島RC　菅沼　裕幹事

福島北RC　北川　宏幹事

（7）委員会報告

⑷ロータリー財団　米山奨学会　ポリオ寄付　　齋藤隆幸委員長

ロータリー財団　合計12名　38，０００円お預かりしました。ありがとうございました。

米山奨学会　合計3名　8,０００円お預かりしました。ありがとうございました。

ポリオ基金　合計１０名　18,０００円お預かりしました。ありがとうございました。

（8）閉会点鐘　　鈴木宏幸会長

懇親会（創立記念祝賀会）

（1）開会　　司会：福島北RCクラブ奉仕Ⅰ委員会　川瀬成人

（2）祝奏　　デュオリサイタル

ソプラノ　二瓶舞子様　　バリトン　山本悠尋様　　ピアノ奏者　渡辺和子様

（3）乾杯　　国際ロータリー第2530地区　パストガバナー　阿久津　肇様

「ご歓談」

（4）「手に手つないで」　　福島北RC　ソングリーダー　宮崎泰明様

（5）中締め　　国際ロータリー第2530地区　パストガバナー　野崎　潔様

（会報作成者：中野久之）